

第6期（平成19年度）事業報告 （平成19年4月1日～平成20年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第6期（平成19年度）の事業について、以下のとおり報告する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・「私の仕事とマイリバー」をテーマに、会員を中心とした各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施した。

【実施場所】大阪府環境農林水産総合研究所環境情報プラザ等

【実施期間】平成19年4月1日～平成20年3月31日（月1回）

各種聞き取り調査や川の資料づくりの実施

【実施内容】・高槻で古くから自然保護や環境保全の市民活動を行っている田口圭介さん（高槻公害問題研究会）に、これまでの活動について2回聞き取りを行った。平成19年6月2日の総会記念講演では、「高槻のローカルヒーローが語る！市民活動37年の足跡（～想いの継承「遺言」～）」として、インタビュー形式で様々な話を伺った。

【実施場所】大阪府環境農林水産総合研究所環境情報プラザ

【実施期間】平成19年4月20日～平成19年6月2日

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・拡大版河川塾として、「あの中村轟（ひとし）さんを囲んで、ブラジル・クリチバの夢を聞く、話す会」を開催した（7/14）。

・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、寝屋川流域の歴史・文化を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 寝屋川」（7/28-7/29）を開催した。

・高槻公害問題研究会、芥川倶楽部の田口圭介氏による講演「高槻のローカルヒーローが語る！市民活動37年の足跡」を開催した（6/2、再掲）。

・猪名川・藻川まつり（9/16-17）の中で、E ボートによる水面利用イベントや水のフォーラムを企画実施した。

【実施場所】寝屋川、藻川等

【実施日時】平成19年4月1日～平成20年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・河川塾の開催情報を中心に情報発信を行った。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・BY スタンプラリーに継続して参画する。近畿水環境交流会 in 寝屋川や拡大版河川塾をエントリーした。

- ・「全国水環境交流会」に積極的に参画した。
- ・「川の日ワークショップ」等全国的なネットワークにも積極的に参画した。
- ・子ども水辺ネットワークの事業に参画した。(5/20 Eボートによる淀川下りなど)
- ・「川を流域住民に取りもどすための全国シンポジウム」(8月11・12日於徳島)への呼びかけ人としての参加した。

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第6期（平成19年度）特定非営利活動に係る事業収支決算書 第1号議案

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成19年4月1日から平成20年3月31日

（単位：円）

科 目	決算額	予算額	差異	備 考（決算）
収入の部				
1 入会金・会費収入				正会員61
正会員入会金収入	8,000	20,000	(12,000)	2千*4
正会員会費収入	145,500	180,000	(34,500)	3千*47、1.5千*3
賛助会員会費収入	18,000	40,000	(22,000)	2千*9口
2 寄付金収入	2,364	10,000	(7,636)	理事会後
3 助成金収入	0	50,000	(50,000)	
4 事業収入				
調査・研究事業	52,000	75,000	(23,000)	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	33,000	100,000	(67,000)	総会講演、イベント（拡大版）
助言・支援事業	0	30,000	(30,000)	
交流創出事業	0	0	0	
5 その他収入				
受取利息	2,384	0	2,384	
当期収入合計（A）	261,248	505,000	(243,752)	
前期繰越収支差額	1,481,747	1,482,000	(253)	
収入合計（B）	1,742,995	1,987,000	(244,005)	
支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	24,100	30,000	(5,900)	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	74,100	150,000	(75,900)	総会講演、拡大版の謝礼等
助言・支援事業	0	10,000	(10,000)	
交流創出事業	0	10,000	(10,000)	
その他事業	0	10,000	(10,000)	
2 管理費				
広告宣伝費	0	30,000	(30,000)	
給与手当（事務局職員）	120,000	120,000	0	アルバイト
水道光熱費（事務局）	0	0	0	
通信費	66,805	85,000	(18,195)	NTT, Yahoo, 切手, 振込料
旅費交通費	2,880	30,000	(27,120)	
消耗品費	0	10,000	(10,000)	事務用品費
会議費	12,000	15,000	(3,000)	理事会会議場所
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	0	5,000	(5,000)	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	0	30,000	(30,000)	
当期支出合計（C）	299,885	535,000	(235,115)	
当期収支差額（A - C）	(38,637)	(30,000)	(8,637)	
次期繰越収支差額（B-C）	1,443,110	1,452,000	(8,890)	

第7期（平成20年度）事業計画（案） （平成20年4月1日～平成21年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第7期（平成20年度）の事業について、以下のとおり計画する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・今年度も、「私の仕事とマイリバー」をテーマに、会員を中心とした各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施する。6月は淀川河川事務所 所長小俣篤さん予定。

・フィールドワークとして、安威川、近木川、芥川等で川歩きを実施する。

【実施場所】大阪府環境農林水産研究所環境情報プラザ等

【実施期間】平成20年4月1日～平成21年3月31日（月1回程度）

各種聞き取り調査や川の資料づくりの実施

【実施内容】・古老から（仮称）「おじいちゃんの仕事、おばあちゃんの暮らし」の聞き取り調査を実施する。例えば、名張の鮎釣り名人の「鈴木のおかあさん」とそば打ち名人の大阪府庁OB「そば紀さん」から、名張での暮らしのことについて話を伺う。

・近畿水の塾オリジナルの「川の時刻表」づくりを検討するため、分科会を立ち上げる。（候補：南海電鉄空港線）

【実施場所】近畿圏内

【実施期間】平成20年4月1日～平成21年3月31日

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・淀川水系流域委員会委員長の宮本博司氏による講演「淀川水系流域委員会の取り組み」を開催する（5/31）。

・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、伏見の歴史・文化を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 伏見」（7/26-7/27）を開催する。

・会員の西河嗣郎さんが船長となり、環濠クルーズ「堺のまちを観る」を開催する。

・猪名川・藻川まつり（9/14）の中で、E ボートによる水面利用イベントや水のフォーラムを企画実施する。

・大西暢夫監督制作の「水になった村」の上映会を開催する（時期検討中）。

【実施場所】伏見川、藻川等

【実施日時】平成20年4月1日～平成21年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】・天若湖アートプロジェクト2008に後援する。

【実施場所】京都府南丹町日吉ダム天若湖畔

【実施日時】平成20年8月9日（土）

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・川に関わる活動をしている団体や個人を紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させる。

・ニュースレターを2回程度発行する。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・BY スタンプラリーに継続して参画する。近畿水環境交流会 in 伏見や拡大版河川塾をエントリーする。

・「全国水環境交流会」に積極的に参画する。

・「第1回いい川・いい川づくりワークショップ」(「川の日ワークショップ」を引き継ぐもの)等全国的なネットワークにも積極的に参画する。

・「エコネット近畿」と情報交換を行う。

・神戸「農都ネット」と情報交換を行う。

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第7期（平成20年度）特定非営利活動に係る事業収支予算書

第2号議案

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成20年4月1日から平成21年3月31日

(単位：千円)

科目	予算額	前年度決算額	差異	備考(予算額)
収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員入会金収入	20	8	12	2千円×10人(新規+10として)
正会員会費収入	180	146	34	3千円×60人
賛助会員会費収入	20	18	2	2千円×10口
2 寄付金収入	5	2	3	
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	50	52	(2)	0.5千円×10人×10回
シンポジウム等企画・実施事業	100	33	67	1千円×100人
助言・支援事業	10	0	10	講師謝金
交流創出事業	0	0	0	
5 その他収入				
受取利息	0	2	(2)	
当期収入合計(A)	385	261	124	
前期繰越収支差額	1,443	1,482	(39)	
収入合計(B)	1,828	1,743	85	
支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	30	24	6	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	100	74	26	講演、水交流会等
助言・支援事業	10	0	10	
交流創出事業	10	0	10	ニュースレター
その他事業	10	0	10	
2 管理費				
広告宣伝費	30	0	30	パンフレット
給与手当(事務局アルバイト)	120	120	0	アルバイト(1万円/月)
水道光熱費	0	0	0	
通信費	30	67	(37)	NTT, Yahoo(4~6月のみ)
旅費交通費	30	3	27	
消耗品費	10	0	10	
会議費	12	12	0	
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	5	0	5	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	10	0	10	
当期支出合計(C)	407	300	107	
当期収支差額(A-C)	(22)	(39)	17	
次期繰越収支差額(B-C)	1,421	1,443	(22)	